

稲沢市議会 議会報告会 報告書

- 開催日時 平成30年5月26日(土)
10:00～11:40
- 開催会場 稲沢市勤労福祉会館 第2～5研修室
- 来場者 63名(女性5名、男性58名)
- 出席議員 23名(全員)
- 概要



議会報告会風景

1. (第1部) 報告会	2. (第2部) 懇談会
(1) 議長挨拶 (2) 出席議員自己紹介 (3) 総務委員会の報告 (4) 文教厚生委員会の報告 (5) 経済建設委員会の報告	(1) 懇談テーマの説明 (2) テーマに関する懇談 ・総務委員会：地域防災について ・文教厚生委員会：子育て支援について ・経済建設委員会：空き家対策について (3) テーマ以外の懇談

■ 懇談会での主な意見並びに要望

<総務委員会>：テーマ「地域防災について」

- ① 市の防災計画が分かりにくい。議員は、地域防災にもっと関与すべきで、どのように関与し、何をしてくれるのか、検討して計画等を作成したら報告して欲しい。
- ② いつ起こるか判らない災害に対して、防災センターは早期に建設し、公助の体制を強化して欲しい。
- ③ 今回の懇談会には、防災ボランティア4名で参加している。行政に公助を求める前に自助で、自分の命は自分で守ることの重要性を訴え、啓発活動に取り組んでいる。自主防災会、まちづくり推進協議会の防災訓練は防火訓練ばかりで、住民の防災意識を高める取り組みに欠けている。
- ④ 災害が起きた時、市の職員は、早く復旧できるように罹災証明等の手続き等の対応を優先する必要がある。避難所の運営に対応できる職員は不足すると言われている。そのため避難所の運営は、地域で避難民が自主的に運営せざるを得ないと言われているが、地域では訓練もしておらず、本当に運営できるのか不安である。もっと実践的な訓練を行うべきではないか。
- ⑤ 避難要支援者を始め、住民のデータが行政からもらえないため、自分たちで作らねばならず問題である。自主防災会へ最低限要支援者リストを公開して欲しい。

<文教厚生委員会>：テーマ「子育て支援について」

- ① 保育園や小学校など、子育てにかかるコストを無料にするなどしなければ若い世代は移住して来ない。子育て支援にお金を回す必要があるのではないか。たとえば、保育料を無料にするなどの施策が良いと考える。
- ② 団塊の世代が年金を受け取るようになり、それを支える若者が減少している。稲沢市に子育て世帯が来てもらうために、稲沢市は交通の便の利を生かそうとしているが、住宅を建てる土地が少なく、難しいのではないかと考える。
- ③ 全国的に人口が減っている。高齢者も覚悟を持って、率先して子育てに投資する必要がある。
- ④ どの自治体も補助や無料にするなどの施策が多く、似たり寄ったりである。補助の拡大だけだと、支出が増えて限界がある。セーフティプラスワンなどのソフト面での充実が増えると良いと考える。
- ⑤ 小学校で英語教育が取り入れられ、プログラミング教育も始まっていくが、教育の充実に向けた準備が必要ではないかと考える。

<経済建設委員会>：テーマ「空き家対策について」

- ① 私は、2、3軒空き家を所有しているが、更地にしたら税金が高くなるため、どうしたら良いか教えて欲しい。除外される特例はないのか。
- ② 行政視察に行かれた綾部市のように、空き家対策として、定住斡旋や就労等斡旋の利活用策は、非常に良い事業と思われるので、稲沢でもぜひ進めてほしい。
- ③ 空き家対策として、一宮市では、古民家を使い、賑わいづくりをしている。稲沢市においても、空き家を不登校などの子や一人暮らしの人などのために活用すべきではないかと考える。
- ④ 有害な空き家の解体等の費用を所有者に請求しても支払わない場合は、税金を使ってでも、解体を促進すべきと思う。
- ⑤ 道路改修によって道路面が宅地面より高くなり、浸水しやすくなった。そのため家を借りていた方が、冠水を嫌って引越したため空き家になってしまった。家の嵩上げを行いたい、その際の補助を考えて欲しい。

以上